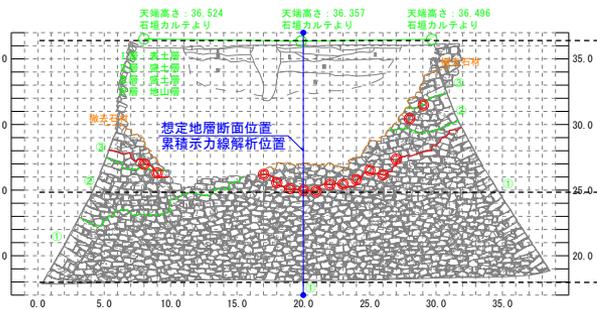
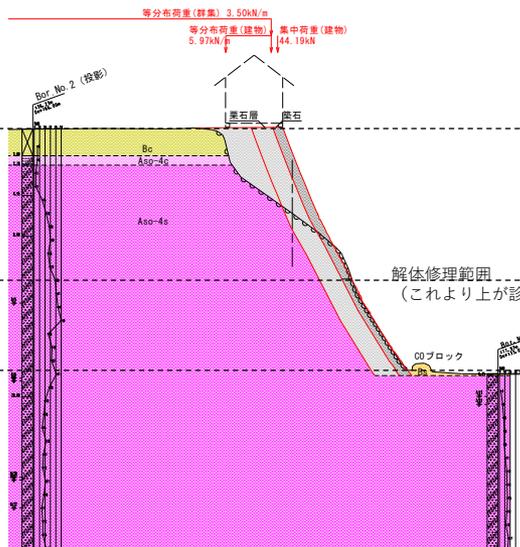


立面図

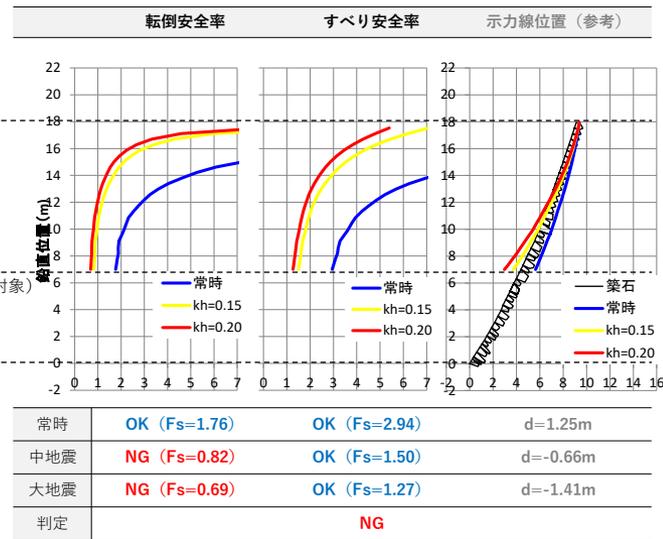


- ①熊本城石垣3期 (1606~1607年頃) 【構築当初】
  - ②熊本城石垣5期 (1625~1632年) 【修理1】
  - ③熊本城石垣6期 (1632~1871年) 【修理2】
- 築石部：横目地通りやすい一方形を呈した築石が多いが、一部サイズが揃っていない

想定地層断面図



築石の安定性評価 (累積示力線解析)



平面図



石垣背面全体の安定性評価 (円弧すべり解析)

運用なし

診断内容、結果、背面構造の設定

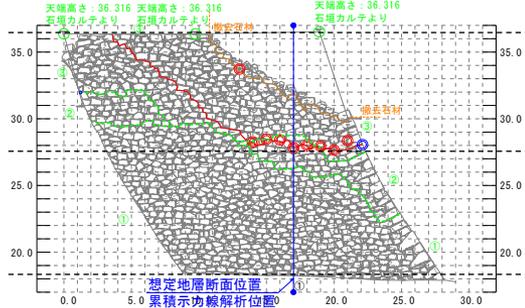
診断内容、結果

診断手法	運用	理由	判定	総合判定
(1) 築石の安定性	○	必ず実施する。	NG	
(2) 石垣根入れ部の安定性	×	根入れ部の安定性に起因する破損変状が確認されないため	-	
(3) 石垣背面全体の安定性	×	上部地盤にクラックがなく、下部地盤に隆起等も確認できない。そのため、背面全体を通過する円弧は生じないと判断したため	-	

背面構造の設定 (累積示力線解析時)

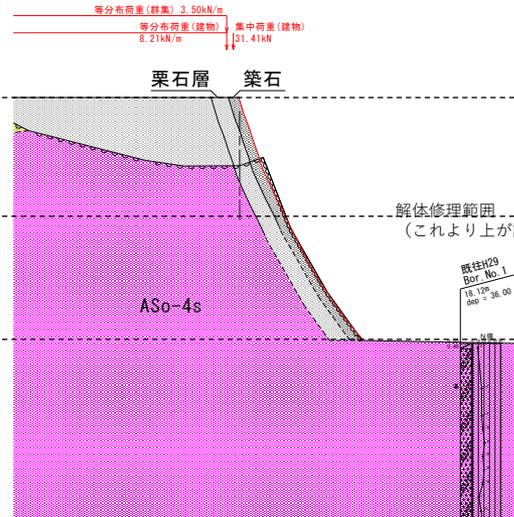
背面構造	理由
栗石	崩落石材回収時の層毎の平面オルソ図を確認し、土砂の混入はあるが、主たる材は栗石 (円礫) であると判断した。

立面図

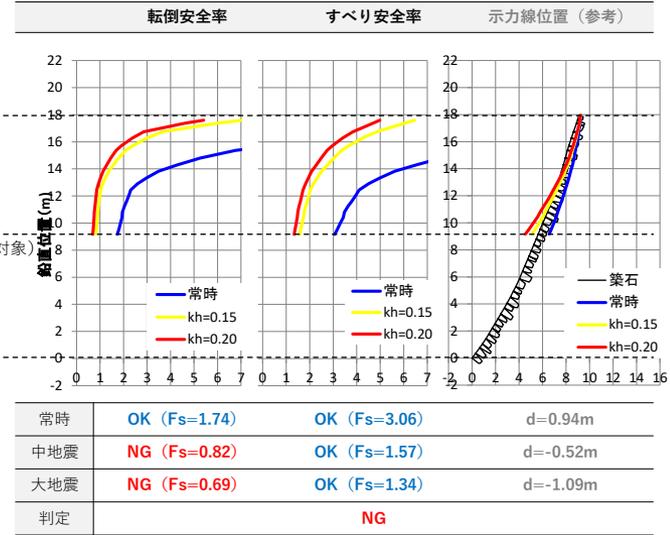


- ①熊本城石垣3期 (1606~1607年頃) 【構築当初】
  - ②熊本城石垣5期 (1625~1632年) 【修理1】
  - ③熊本城石垣6期 (1632~1871年) 【修理2】
- 築石部：横目地通りやすい一方形を呈した築石が多いが、一部サイズが不揃い

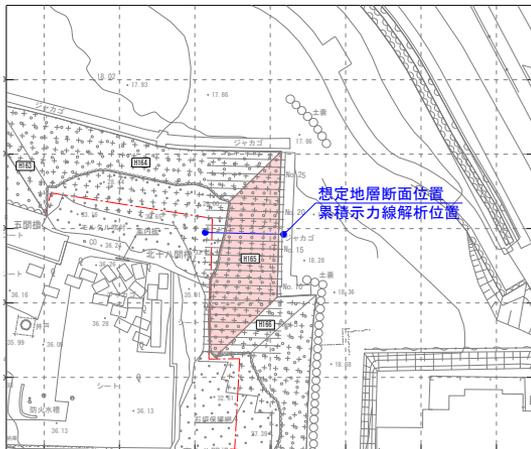
想定地層断面図



築石の安定性評価 (累積示力線解析)



平面図



石垣背面全体の安定性評価 (円弧すべり解析)

運用なし

診断内容、結果、背面構造の設定

診断内容、結果

診断手法	運用	理由	判定	総合判定
(1) 築石の安定性	○	必ず実施する。	NG	C
(2) 石垣根入れ部の安定性	×	根入れ部の安定性に起因する破損変状が確認されないため	-	
(3) 石垣背面全体の安定性	×	上部地盤にクラックがなく、下部地盤に隆起等も確認できない。そのため、背面全体を通過する円弧は生じないと判断したため	-	

背面構造の設定 (累積示力線法解析時)

背面構造	理由
栗石	崩落石材回収時の層毎の平面オルソ図を確認し、土砂の混入はあるが、主たる材は栗石 (円礫) であると判断した。